

「村の財政事情を読み解く。」

特集

平成23年度大和村一般会計決算報告

もくじ

- 02-07 特集：「村の財政状況を読み解く。」
- 08-13 村の話題：ひらとみ祭り開催、ほか
- 14-15 お知らせ：ゆっくり走ってくりんしょれ～、ほか
- 16-16 連載：ナチカシャふおとぐらふ、ほか

舟漕ぎ競争の練習風景（国直海岸）

# 収支

# 歳出

# 歳入

特集 平成23年度大和村一般会計決算報告  
「村の財政事情を読み解く。」

特集 平成23年度大和村一般会計決算報告

## 「村の財政事情を読み解く。」

～歳入・歳出・収支～

9月26日、大和村議会第3回定例会本会議において平成23年度決算が認定されました。

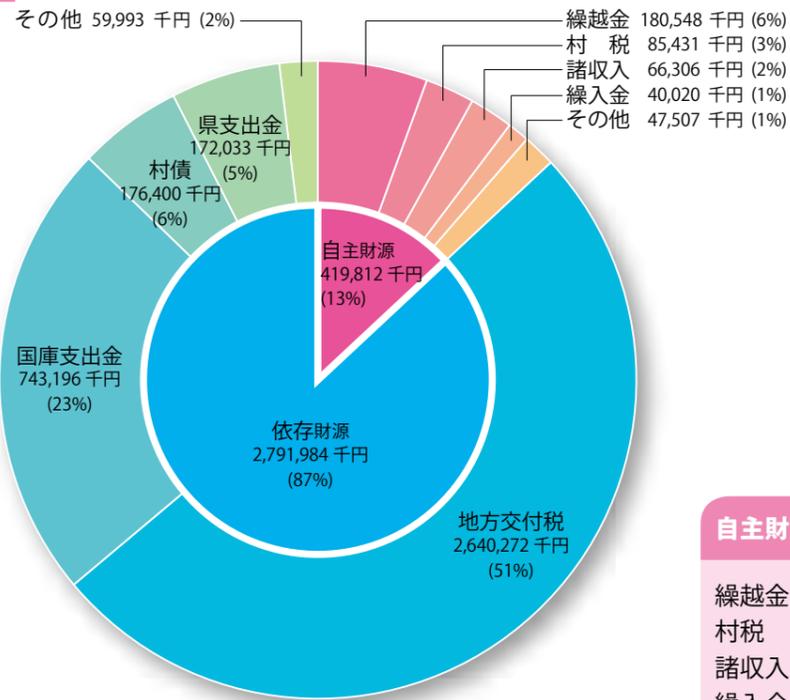
大和村における平成23年度一般会計の歳入総額は32億1170万6千円。歳入総額は31億2378万3千円。歳入から歳出を差し引いた額は8792万3千円。翌年度に繰り越すべき額を差し引いた実質収支は6142万6千円の黒字となりました。

村の1年間の財政事情をまとめた決算書は、行政活動の概要を知ることができる村の「通信簿」です。予算がどのように執行され効果を上げることが出来たのか、決算書から読み解くことが出来ます。また、村は議会に認定された決算を住民に公表するよう法律で定められており、住民のみならずそれをチェックする義務があります。しかし、行政の予算や決算は「財政用語が難しい」とか「額が大きすぎてピンと来ない」等の理由から無関心になりがちです。

広報やまと9月号では平成23年度歳入歳出決算を①歳入②歳出、③収支ごとに分類し特集します。決算審査特別委員会で取り上げられた項目を中心に、なるべく分かりやすく解説しますので、「うっせ難しいから」と読み飛ばすことなく最後までおつき合い願います。住民の監視の目こそ「最小の経費で最大の効果を上げる」行政活動の源です。

# 歳入

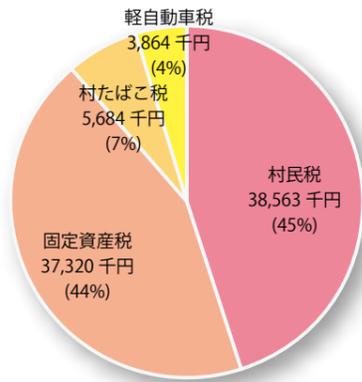
### 5 歳入総額 32億1170万6千円の性質別内訳



自主財源	村が独自に調達するお金
繰越金	前年度からの持ち越し
村税	住民税や固定資産税などの税金
諸収入	預金利子など
繰入金	基金などからの繰り入れ
その他	使用料及び手数料・財産収入・寄付金・分担金及び負担金

依存財源	国や県から村に入るお金
地方交付税	村の状況に応じて国から貰うお金
国庫支出金	事業を行うために国から貰うお金
村債	村が借り入れるお金
県支出金	事業を行うために県から貰うお金
その他	地方譲与税・地方消費税交付金・地方特例交付金・その他交付金

### 6 村税収入 8543万1千円の税別内訳



平成23年度歳入決算は32億1170万6千円(表3)で、前年度の30億4457万3千円と比較して1億6713万3千円(5.5%)増加しました。

歳入増加額の主な要因は、国庫支出金が7億5319万6千円と、前年度と比較して3億5638万5千円(92%)増加したことによるものです。

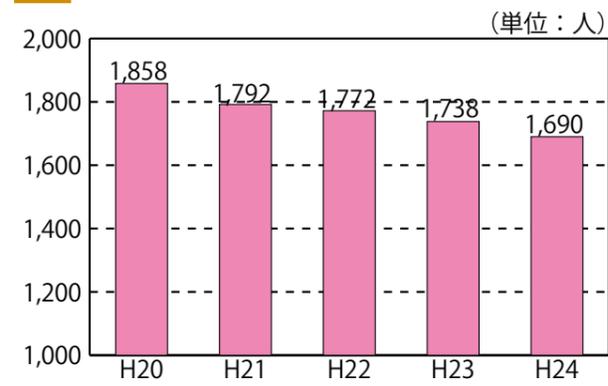
また、歳入決算の構成比(表5)は地方交付税が51%と最も高く、以下、国庫支出金(23%)、繰越金(6%)、村債(6%)、県支出金(6%)の順となっています。

歳入を性質別に分類すると、村が独自に調達することのできる「自主財源」が4億1981万2千円(13%)。国や県から村に入る「依存財源」が27億9189万4千円(87%)となっています。他の市町村と比較しても(表8)大和村は歳入に占める自主財源の割合が低いことが分かります。

自主財源、とりわけ村税収入の確保は村の健全財政の運営に欠かせない課題ですが、人口減少や過疎・高齢化など村の状況は厳しさを増しており、有効な定住促進施策が求められています。

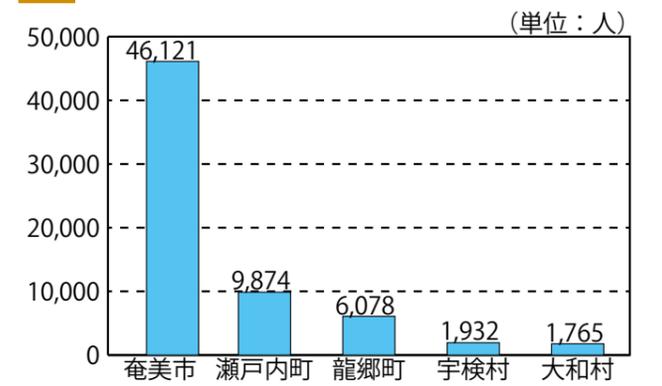
また、厳しい財政運営の中、自主財源である村税や使用料の滞納の問題(表12)が浮上しています。特に、村営住宅使用料の滞納が増加傾向にあり、公平性を担保するためにも、長期滞納者には強い態度で臨むことが必要です。

### 1 人口の推移



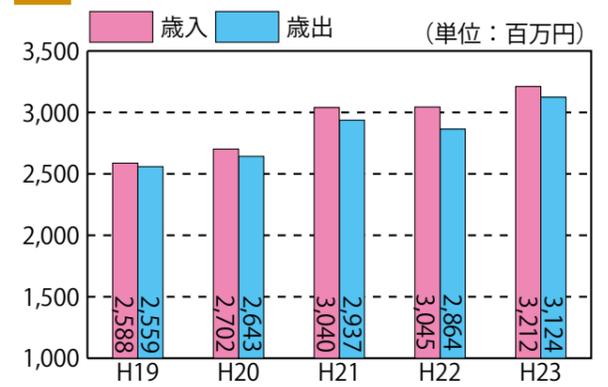
5年間で168人、9%の減少(4月30日現在人口)

### 2 人口の比較



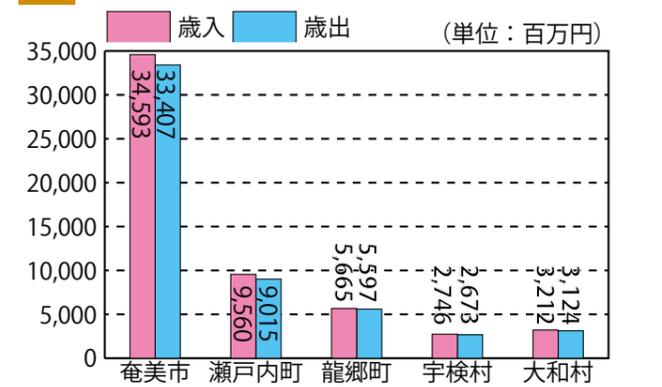
人口規模は島内で最も小さい(平成22年国勢調査)

### 3 歳入歳出決算額の推移



5年間で6億240万円、24%の増加(歳入額)

### 4 歳入歳出決算額の比較



人口規模と比較し財政規模は大きい(平成23年度決算)

広報

9月号

広報やまと 9月号

収 支

歳 出

歳 入

特集 平成23年度大和村一般会計決算報告  
「村の財政事情を読み解く。」

13 歳出総額 31億2378万3千円の性質別内訳

項目	金額 (千円)	割合 (%)
積立金他	190,090	6%
繰出費	215,341	7%
公債費	566,672	18%
その他の経費	972,103	31%
消費的経費	1,195,498	38%
物件費	320,205	10%
補助費等	224,781	7%
扶助費他	132,405	4%
災害復旧事業費	552,646	18%
普通建設事業費	403,536	13%
投資的経費	956,182	31%

歳 出

消費的経費 任意に削除できない経費

人件費 職員給与や議員報酬など  
物件費 消耗品などの購入経費など  
補助金等 各種団体への補助など  
扶助費他 手当や支援など

投資的経費 支出の効果が将来に残る経費

災害復旧事業費 災害復旧に使われたお金  
普通建設事業費 建設事業に使われたお金

その他の経費 上記二つの経費以外の経費

公債費 借金の支払い  
繰出金 特別会計へ繰り出したお金  
積立金他 預金利子ほか

14 性質別歳出額の推移

項目	H19	H20	H21	H22	H23
消費的経費	1,195				
投資的経費	956				
その他の経費	972				

平成23年度歳出決算は31億2378万3千円(表3)で前年度の28億6402万5千円と比較して2億5975万8千円(9.1%)増加しました。

歳出増加額の主な要因は、災害復旧費が5億3816万7千円と、前年度と比較して4億4798万2千円(49.7%)増加したことによるものです。

また、歳出決算の目的別構成比(表15)は総務費が20%と最も高く、公債費(18%)、災害復旧費(17%)、民生費(12%)、土木費(8%)の順となっています。

歳出を性質別に分類すると(表13)公債費が18%と最も高く、以下、災害復旧事業費(18%)、人件費(17%)、普通建設事業費(13%)、物件費(10%)の順となっています。前年度比較で見ると、投資的経費が24%増加し、人件費や物件費などの義務的経費が6%増加しました。投資的経費の増加の要因は、平成22年奄美豪雨災害による災害復旧事業費の増加によるものです。

人件費や扶助費、公債費など毎年経常的に支出しなければならない経費(経常的経費)が増加することにより財政の弾力性が失われ、安定的な行政サービスの提供が困難になります。「最少の経費で最大の効果」を上げるためにも、徹底した歳出の見直しが求められます。

7 自主財源の推移

項目	H19	H20	H21	H22	H23
繰入金					47
諸収入					40
村税					66
繰越金					85
その他					181

自主財源の中心となる村税は、8,500万円程度で推移し、基金からの繰入金は減少傾向にある。繰越金の増加は補助事業等の年度繰越によるもの。

9 依存財源の推移

項目	H19	H20	H21	H22	H23
地方交付税	1,640				
国支出金	743				
村債					172
県支出金					60
その他					176

平成23年度の国庫支出金の増加は災害復旧に係る国庫負担金の増額による。

11 村税・使用料滞納額の推移

項目	H19	H20	H21	H22	H23
国民健康保険税	10,161				
住宅使用料	4,337				
固定資産税	9,951				
村民税	3,988				
その他	1,983				

国民健康保険税(国保特別会計)と村営住宅使用料の滞納が全体の66%を占める。特に住宅使用料の滞納が増加傾向にある。

8 自主財源比率の比較

自治体	比率 (%)
奄美市	19.6
瀬戸内町	21.2
龍郷町	20.5
宇検村	12.1
大和村	12.8

平成22年度決算における自主財源の最終総額に占める割合。大島郡内の全自治体が県平均の22.3ポイントを下回っている。

10 財政力指数の比較

自治体	指数
奄美市	0.25
瀬戸内町	0.14
龍郷町	0.16
宇検村	0.09
大和村	0.08

地方交付税の算定の際に用いる基準財政需要額を基準財政収入額で除した数値の3カ年平均。財政力や国への依存度を示す指数。

12 基金保有高と村債残高の推移

項目	H19	H20	H21	H22	H23
基金保有高	687	772	825	916	1,075
地方債残高	4,887	4,596	4,273	3,995	3,675

基金保有高は右肩上がりに増加し、地方債残高は右肩下がり減少。村の財政状況が回復傾向にあるのがみとれる。

5

4

# 収 支

# 歳 出

# 歳 入

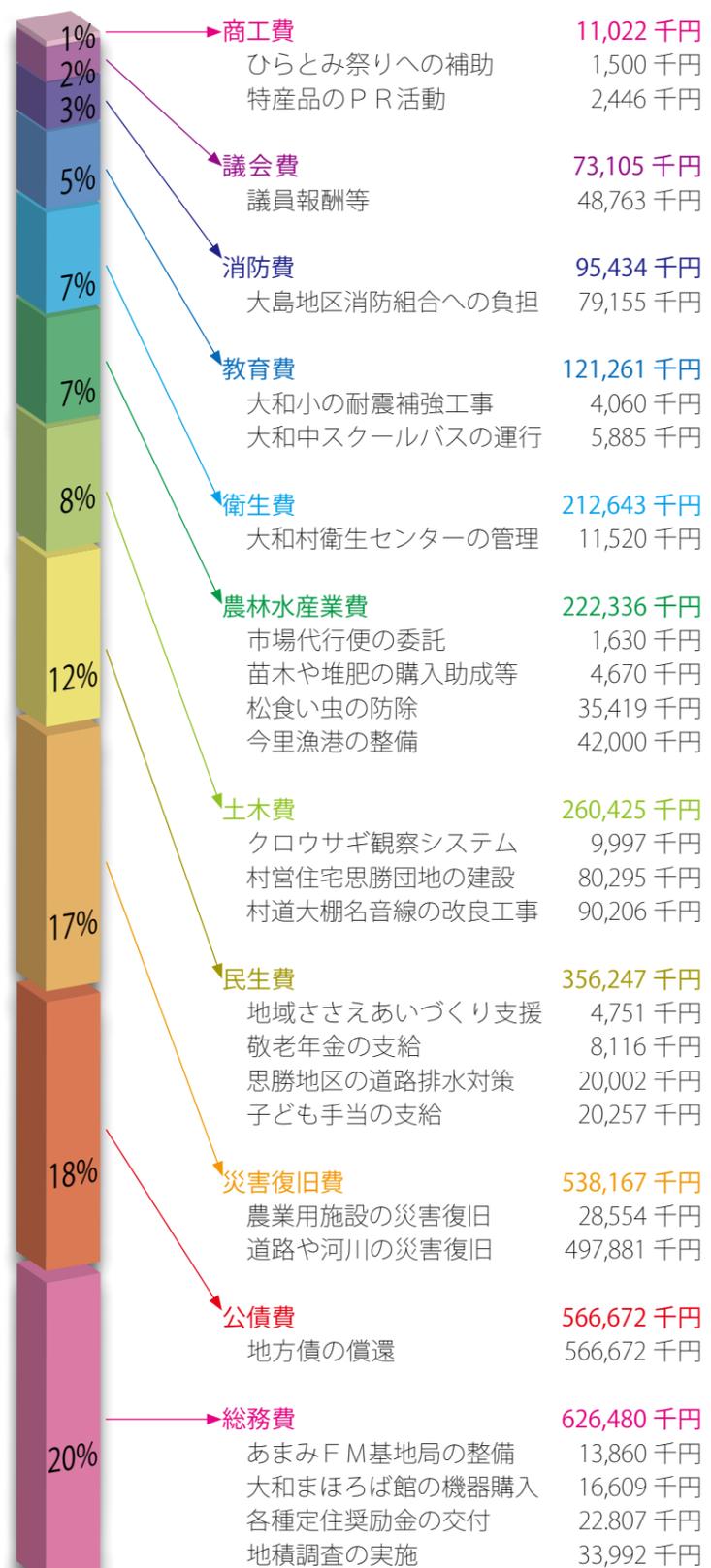
特集 平成23年度大和村一般会計決算報告  
「村の財政事情を読み解く。」

## 16 平成23年度大和村一般会計の収支状況

(A) 歳入総額	32億1170万6千円
(B) 歳出総額	31億2378万3千円
(C) 歳入歳出差引残額	8792万3千円 (A) - (B)
(D) 翌年度へ繰越すべき財源	2649万7千円
(E) 実質収支	6142万6千円 (C) - (D)
(F) 単年度収支	1557万7千円 (E) - 前年度の(E)
(G) 積立金	1億3552万3千円
(H) 繰上償還	3890万円
(I) 預金取り崩し額	3600万円
(J) 実質単年度収支	1億5400万円 (F)+(G)+(H) - (I)

# 収 支

## 15 歳出総額 31億2378万3千円 (費目別内訳)



商工費 第20回ひらとみ祭り花火大会



教育費 大和中学校スクールバス

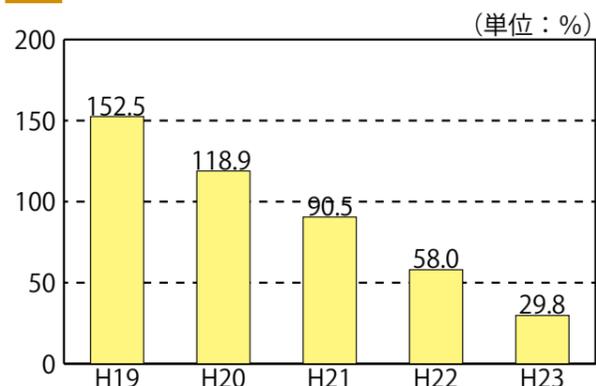


土木費 村営住宅思勝団地6号棟



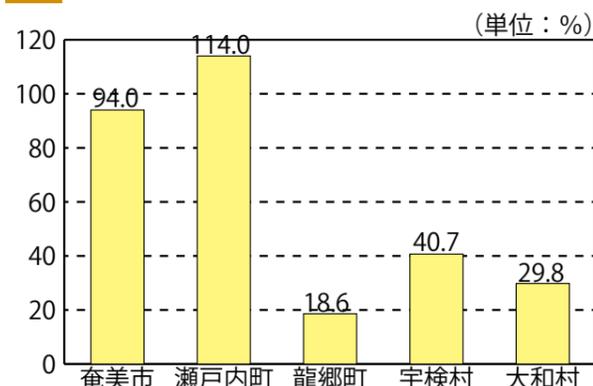
総務費 加工施設「大和まほろば館」

## 17 将来負担比率の推移



将来負担比率とは村が将来支払う可能性がある負債の財政規模に対する比率。将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。

## 18 将来負担比率の比較



早期健全化基準（破綻寸前として自主的な財政再建が義務づけられる基準）の350%を越える団体はなく、大和郡内の全市町村が前年度から減少しました。

中国の故事に、「量入制出（入るを量りて出るを制す）」という諺があります。これは、「あらかじめ収入を計算し、支出の計画を立てよ」という戒めの言葉。現代の行政運営にも通じる諺でしょう。村の行政活動に必要な財源がなければ十分なサービスを行うことが出来ず、安易に借金に頼れば財政は破綻してしまいます。また、大和村のような小規模団体では村独自に資金を調達する村税などの自主財源は限られており、国や県などの影響を受ける地方交付税などの依存財源に頼らざるをえません。限られた自主財源の確保のためには、増加傾向にある滞納の解消に取り組むとともに、急速に進行する人口減少に歯止めをかけることが急務となります。

また、歳出においても、住民のニーズに応え事業を取捨選択する一方、歳出の削減、とりわけ財政の硬直化をもたらす人件費や公債費といった義務的経費の抑制を図ることも重要でしょう。しかし、徹底的な歳出の精査は勿論のことですが、一律に歳出を切りつめるだけではなく、村民が安心して心豊かに暮らせるよう住民ひとりひとりに目を向けたサービスも必要です。健全な財政運営を行うには、長期的な視点から財政構造を予測し「量入制出」を実践しなければなりません。



① 総合エンガの部優勝（3連覇）奄美病院ドリームIIによる決勝戦を終えてのビクトリーラン ② 総合メラベの部優勝の大笠利郷友会の決勝戦結果発表の瞬間 ③ 集落対抗エンガの部優勝の湯湾釜集落 ④ 集落対抗メラベの部優勝のふうだなあまんぎやるず（大棚婦人会） ⑤ 保育所園児や小学生によるキッズダンス ⑥ 大和中の生徒によるバンド演奏 ⑦ 奄美市役所職員バンドの濱田洋一郎と商工水産'S ⑧ 阿波踊り同好会奄美連

舟漕ぎ競争（方言名：フナシユブ『舟勝負』はアイノコと呼ばれる木舟とヨホと呼ばれる櫂を使用し、7名で漕ぐ伝統のボートレース。夏祭りのメインイベントとして島内各地で大会が繰り広げられます。

舟漕ぎシーズン最後の大会となるひとみ祭りには例年強豪チームが集いハイレベルな競争が繰り広げられます。今年は大大会の延期にもかかわらず、エンガ（男子）の部に45チーム、メラベ（女子）の部に25チームが参加。青空の下、息のあったヨホさばきで力強く舟を進めていました。

近年は競技のレベルアップから地元での苦戦が続く村内チームですが、それでもご当地チームが出場すると各応援テントからはチジン（太鼓）を打ち、ハト（指笛）を吹いて声援を送る姿が見られました。来年こそは村内チームの奮起を期待したいところです。

夜のステージショーは保育所の子供らによるダンスを皮切りに阿波踊りやフラダンス、バンド、シマウタ、抽選会など多彩な出しものが会場を沸かせました。

祭りのフィナーレは2,000発の花火がテンポ良く打ち上げられ、浦内湾に迫力ある爆音が響きました。訪れた人々は鮮やかな夜空を見上げながら過ぎ行く夏を惜しみました。



第二十二回  
ひらとみ祭り

大和村最大のイベント「第21回ひとみ祭り（同実行委員会主催・南雲聡委員長）」が9月8日（土）、思勝港一帯で開催されました。同祭りは例年8月最後の土曜日に開催していましたが今年折からの台風15号の接近により2週間延期しての開催となりました。

当日は絶好の天気恵まれ、伝統の舟漕ぎ競争やステージショー、花火大会など例年以上に盛り上がり、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。

同祭りはイベントで村を盛り上げようと21年前に村連合青年団が企画運営したのが始まり。村の若者達に代々伝わる伝統の祭りです。団員の減少に苦慮する青年達ですが、「生まれ育ったシマ（ふるさと）を自分たちの手で興していこう」を合い言葉に準備に奔走してきました。特に、今年は台風による延期で例年以上に作業が煩雑になりましたが、若者達は深夜に及ぶ準備作業を笑顔でこなし、祭りの開催にこぎ着けました。

開催にあたり南雲聡実行委員長は、「開催を延期したにもかかわらず村内外から多くの人が参加していただき感謝します。これからもひとみ祭りを通じて村を盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。若者達のエネルギーで村が活気に包まれた一日となりました。

# 頑張れ未来のオリンピック選手たち！

## オリンピック選手によるバドミントン教室を開催

文部科学省・公益財団法人日本体育協会の「子どもの体力向上啓発事業」の一環として、8月23日に大和村体育館でバドミントン教室が行われました。

同事業は、全国各地にトップアスリートを派遣し、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身につけることの大切さ、スポーツのすばらしさなどを子どもたちに伝え、自らの豊かな経験と卓越した技術をもとに、講話や実演・指導を行い、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身につけることを目的として開催しています。

今回は、バドミントン男子シングルス日本代表として2000年シドニー、2004年アテネと2度のオリンピック出場経験をもつ山田英孝氏を講師に招き教室を開催。村内から25名の小中学生が参加し、基本のラケットの握り方から始まり、ドライブ、ドロップ、ス

マッシュ、ヘアピンなど基本ストロークの指導がありました。トップアスリートならではのラケットワークに受講生たちは時折「おおー！！」と歓声を上げ、懸命に練習に取り組み、バドミントンの楽しさを再確認しました。

がんばれ！未来のオリンピック選手たち！



# 友達いっぱい楽しいな～

## 大和小学校で全校合同学習を開催

大和村内の小学校は、大和小学校、大和小学校湯湾釜分校（1,2年生のみ）、大柵小学校、名音小学校、今里小学校の5校があり84名の児童が通学しています（戸円小学校は休校中）。以前は小中学校併設でしたが平成23年度の中学校統合によってそれぞれが単独校となり学校の規模が大幅に縮小しました。

小人数での集団活動や複式学級等、小規模校におけるデメリットを補完することを目的として、10月3日に大和小学校にて大和村複式小規模校5校集合学習が開催されました。集合学習は村内の全児童が大和小学校に集まり、2時限目から5時限目まで各学年合同で授業を行うもの。

3時限目の3、4年生合同の音楽の授業では、山田教諭（大和小）の指導のもと32名の児童が「おもちゃのチャチャチャ」を合唱していました。それぞれ学校ごとに異なるユニホームですが、子供たちは抵抗無く

交流し打ち解けた様子でした。

大和村では、児童一人一人の個に応じた指導や、先生と児童、地域の強い結びつき等、小規模校ならではの特色を生かしつつ、大人数での集団活動や交流を経験させ、中学校や高校での集団活動に備えるとともに子供たちの情操教育を育んでいます。



# 連日の停電や通行止めとうんざり

## 台風15号・16号・17号と立て続けに奄美接近

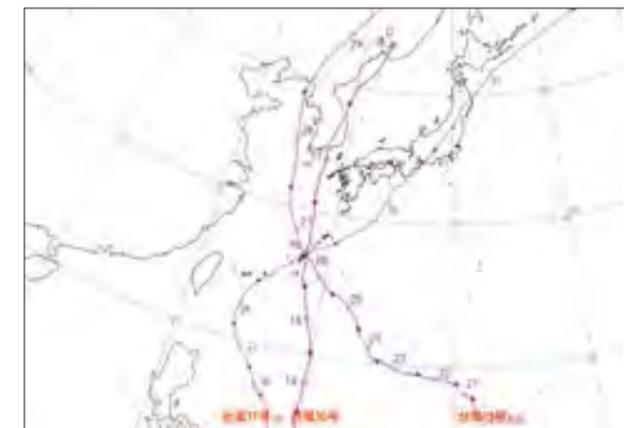
台風銀座と呼ばれるほど台風が常襲する南西諸島ですが、今年は8月26日（日）、9月16日（日）、9月30日（日）にかけて台風15,16,17号が接近しました。これらの台風はいずれも大型で非常に強い勢力を保ったまま奄美大島を暴風域に巻き込み、各地に大きな被害をもたらしました。

なかでも、中心の気圧が935ヘクトパスカルという強い勢力のまま奄美に接近した台風17号は、29日午後8時には、村役場に設置した観測計が最大瞬間風速47.8メートル、時間雨量73.5ミリを計測。家屋の半壊4棟、床上浸水2棟、床下浸水49棟の被害をもたらしました。折しも台風が接近した夜は、各集落で十五夜豊年祭が開催される前日とあって、集落によっては開催中止やプログラムを大幅に縮小しての実施となりました。

また、台風の度に村内各所で土砂崩れによる道路の

通行止めや、停電、断水、携帯電話の不通などライフラインが寸断。特に、最長4日間の停電にさらされた西部地域は連日の不便な生活に「もううんざり」といった様子でした。

台風の常襲する奄美大島です。かねてから避難経路の確認や災害グッズを準備し台風に備えましょう。



# 村議会で伝統工芸を後押し

## 村当局全員が村議会で大島紬柄のシャツを着用

9月7日に第3回大和村議会定例会が開会しました。かねてから節電対策としてクールビズに取り組んでいる議会活動ですが、この日は出席した村当局職員全員が大島紬柄のシャツを着用。いつも緊張に包まれた議場が大島紬柄のシックなデザインで和やかな雰囲気になりました。

ほかの職員に先駆け以前から紬シャツで議会に出ていた伊集院村長は会議の冒頭、「生活スタイルの変化や国民の和装離れなどにより大島紬業界は永らく低迷が続いています。しかし大島紬は奄美大島の財産でありその価値は変わることはありません。私たちは先人から受け継いだ大島紬に誇りを持ち、身につけることで伝統産業の普及啓発に努めていきましょう」と語りました。

高価でなかなか手の届かない紬製品ですが、最近は安価なプリント製品も多く出回っています。また、ネ

クタイやシャツ、バッグといった定番の品以外にも、小銭入れや携帯ケース、シュシュ、ストラップなど魅力的な小物が様々な商品が販売されるようになりました。

奄美に暮らす者として一つくらいは紬グッズを身の回りに置いておきたいものです。



# 海岸線をスモモ色に点灯

## 海岸沿いの赤色ライトでウミガメの保護

大和村の国直海岸はウミガメの産卵地として知られ、夏の間ウミガメの産卵や子ガメのふ化を見ることができます。今シーズンも40頭以上のウミガメの上陸が確認され、ふ化のピークとなった8月は子ガメを観察する子供たちで賑わいました。

通常、ふ化した子ガメは海面に照らされた月明かりに向かって泳ぎますが、人口光に照らされた海岸では陸地の集落方向に向かって迷走する子ガメが続出。海岸では観察に訪れた子どもたちが子ガメを捕獲し、暗闇の砂浜から海へ放流するという光景が見られました。

ウミガメの迷走に苦慮した国直の人々は、奄美海洋生物研究会の興克樹会長から「ウミガメは青い光にはよく反応するが赤い光に鈍感」との助言を受け、海岸沿いの街灯に赤色カバーを装着することを決定。9月1日には集落の子供たちも参加して街灯へ赤色カバーの設置作業を行いました。

村上恵子区長は「海岸線の道路がネオンのように赤く照らされ、通行する際にご迷惑をお掛けしますがウミガメの保護にご理解をお願いします」と協力を求めました。また、街灯の赤色が村特産のすももの色に似ていることから、「海岸線の道路をすももロードと名付けよう」との意見があがりました。



# 竜宮城には連れて行きませんが

## 思勝港でウミガメの餌やりができます

大和村の思勝港、漁協前岸壁付近には大小5頭のアカウミガメが滞留しています。

カメたちは、最盛期を迎えたトビイカ漁の下処理の際に廃棄されるイカの内蔵を目当てに岸壁に近づきます。特にイカ釣り船の若草丸のスクリュー音を知っており、若草丸が帰港すると岸壁のすぐ側まで接近して

は餌をねだり、中には直接人の手から餌を食べる個体も（画像右下）。

トビイカシーズンの間、思勝港を訪れてみてはいかがでしょうか？運が良ければウミガメの餌付け体験が出来るかも知れません。（画像左下は産卵のため国直海岸に上陸したアカウミガメ）



# まんげんしょなよ体操でリフレッシュ

## 北大島地区老人クラブ研修会開催

9月6日（木）、大和村中央公民館にて平成24年度北大島地区ブロック研修会が開催され、奄美市名瀬地区をはじめ同笠利町、同住用町、龍郷町、大和村の3市町村5地区の老人クラブから約300人が参加し交流を深めました。

開会式では大崎忠通大和村老人クラブ連合会会長の開会あいさつ、伊集院幼大和村長による歓迎あいさつに始まり、大和村保健福祉課重野介護指導員による本村における福祉活動の報告が行われたました。

また、スポーツジム・アクアクラブ所属の栄大作健康運動指導師による「まんげんしょなよ体操（転倒予防体操）」が行われ、ゆっくりとしたストレッチ運動の他、脳トレを併用した体操で心身共にリフレッシュ。参加者のみなさんは笑顔で大きく体を動かし健康運動を楽しみました。

体操の後は各地区から活動事例発表が行われた他、

参加者が心待ちにする演芸発表が開演。各地区の芸達者のみなさんが唄や踊りを披露し、会場は拍手喝采と笑い声に包まれ終始にこやかな一日となりました。

大会終了後参加者達は、次回奄美市で開催される北大島地区スポーツ大会での再会を約束し会場を後にしました



# 八月踊りでコーソガナシを祀る

## 伝統のアラセツ・シバサシ行事を祝う

アラセツ、シバサシ、ダウンガは島のミハチガツ（八月三節）と呼ばれ、コーソガナシ（ご先祖）を祀る祭りです（アラセツは旧暦8月の初丙・丁、シバサシは壬・癸、ダウンガは甲子の日に行います）。アラセツの前日のことをスカリ（またはスカルバン）といい、当日をマツリビ、翌日をナーチャビと呼び三日三晩ヤーマワリ（集落内の家々を廻って八月踊りを踊る）を行っていました。現在ではヤーマワリの風習は無くなりましたが、村内西部地区を中心に公民館やトネヤ前などで八月踊りが踊られています。

9月21日はアラセツスカリ（アラセツは旧暦8月の初丙の前日）に当たり、大金久集落と今里集落で八月踊りが行われました。

今里集落（永田義久区長・67世帯）では午後7時から公民館前を皮切りに、カミヤ前（写真）消防格納

庫前など集落各所で八月踊りが行われ、若者から高齢者まで集い深夜まで唄い踊りました。

八月踊りは先祖から受け継いだ奄美大島の大切な財産。また、集落ごとに唄や踊りが異なり個性的です。それぞれの集落で大切に保存し、いつまでも後世に伝えましょう。



# 平成24年度自衛官等募集案内

募集項目	応募資格	受付期間	試験日・場所	試験科目	待遇・その他
陸上自衛隊 高等工科学 校生徒	一般 男子で中卒（見込含） 17歳未満の者	平成24年 11月1日～ 平成25 年1月7日	1次 平成25年1月19日 奄美市名瀬永田町17-3 大島支庁内会議室  2次 平成25年2月2日～ 5日までの指定する1日 鹿児島県国分駐屯地	1次 国語・社会・数学 理科・英語の択一式 (マークシート) 作文(500文字程度)  2次 口述試験 身体検査	○身分 特別職国家公務員(生徒) (自衛官ではありません)  ○手当 生徒手当月額94,900円 期末手当年2回(6・12月)  ○衣食住 全員が駐屯地で生活し、 宿舎は無料、食事・制服類・ 寝具については支給又は貸与  ○休日・休暇 週休2日制、祝日、年末年始 休暇等  ○高校教育 提携する通信制高校に入学し、 生徒課程修了時に高等学校の卒業 資格を取得する
	推薦 男子で中卒（見込含）17歳未満の、 成績優秀かつ生徒会活動等に 顕著な実績を納め、学校長が推 薦できる者	平成24年 11月1日～ 平成24年 12月7日	平成25年1月12日～ 14日の指定する1日  神奈川県横須賀市御幸浜 陸上自衛隊高等工科学学校	口述試験 筆記試験 (作文を含む) 身体検査	

【問い合わせ先】自衛隊鹿児島地方協力本部奄美大島駐在事務所  
住所 奄美市名瀬永田町17-3 大島支庁内別館2階  
電話 0997-53-9103 (詳細については事務所までご連絡下さい。)



## ゆっくり走ってくりんしょれ〜

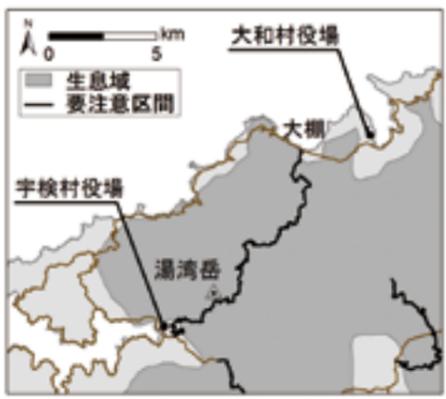
アマミノクロウサギは、世界中で奄美大島と徳之島の森だけに生息しているとても希少な動物です。しかし一方で、毎年多くの個体が交通事故で死亡しているという悲しい現実もあります。「森のたから」をまもるため、ゆっくり走ってくりんしょれ〜！

☆毎年9月〜12月頃に事故発生数が増加します。

☆アマミノクロウサギが活動する夜間は注意し、特に林道では20km/h以下の運転をお願いします。

☆大和村には、アマミノクロウサギが多く生息しています。地図の注意区間は事故が起きやすいので、注意して運転して下さい。

※ケガをしていたり、死んでいるアマミノクロウサギを発見したら、ご連絡をお願いします《環境省奄美野生生物保護センター TEL:55-8620》。



## 差し押さえ財産を公売します

大島本島管内市町村の合同で公売会を開催いたします。

公売とは、市町村が税金の滞納者から差し押さえられた家財道具や電化製品、日用品などの財産を入札により公売するものです。

今回は、冷凍庫やDVDプレーヤー、瀬戸物など多数出品されており、掘り出し物が見つかることでしょう。ぜひご来場下さい。

開催日時  
11月9日(金)  
11時30分〜12時30分(下見会)  
12時30分〜12時40分(入札)

会場  
奄美文化センター2階会議室  
必要なもの  
購入代金・印鑑・身分証明書  
問い合わせ先  
大島支庁県税課 TEL:57-7225  
奄美市税務課 TEL:52-1111



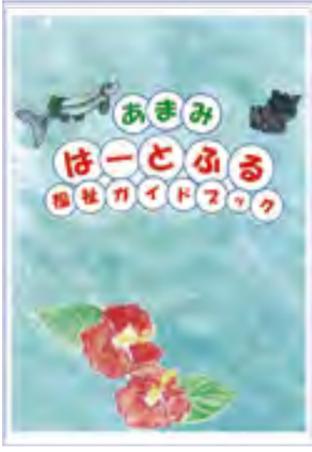
## 障がいのお悩み相談室を設置

奄美大島本島の五つの市町村(奄美市・大和村・龍郷町・宇検村・瀬戸内町)および本島内22の福祉関係機関で「奄美地区地域自立支援協議会」を設置しています。事務局では、福祉サービス等に関する地域の課題や要望を集約し、会の運営を行っています。

今年の4月から、障がい者相談支援機能のより一層の充実を目的に、相談支援専門員が障がい者の相談に応じています(奄美市役所福祉政策課内)。

月・火:星の園相談支援専門員  
水:チャレンジサポート奄美  
金:地域活動支援センターゆらい

今回、奄美本島内の障がい者及び障害福祉関係機関の一助になることを願い、協議会におきまして、「あまみは」とふる(福祉ガイドブック)を作成しました。関係者を対象に配布していますので、ご活用ください。(※下記ホームページから、ガイドブックのデータをダウンロードできます。) <http://www.amami-jitsus.org/guidebook.html>



### こせきの窓

人口 1,691人 (△36)  
男 811人 (△12)  
女 880人 (△24)  
世帯 891戸 (△10)

9月1日現在  
(前年同月比)

### 島のお宝

満1歳おめでとう

杉島 希空さん  
保護者・杉島 勇さん(大和)

のあちゃんの優しい笑顔にみんな癒されます。

## 平成25年度訓練生募集

鹿児島県障害者職業能力開発校では平成25年3月卒業見込者を対象にした募集(新卒のみ)と、新規学卒選考及び一般の方を対象にした募集を行います(一般・新卒)。鹿児島県障害者職業能力開発校は、障害をお持ちの方が、その能力に適合する職種について基礎となる知識・技能を修得し、就業による自立と生活の安定を図ることを目的とする公共職業能力開発施設です。

募集期間  
新卒のみ 7月25日〜9月16日  
一般・新卒 10月4日〜11月25日

お問い合わせ先  
鹿児島県障害者職業能力開発校  
TEL:0996-44-2206 又はお近くのハローワークにお問い合わせ下さい。

※ ハローワークのあつせんを受けられた方は雇用保険、訓練手当などが支給される場合があります。



### ご結婚おめでとう

宮田衣津茂さん(今里)  
長谷川 愛さん(曾於市)

### お誕生おめでとう

水田 依寿さん(水田拓・思勝)

### お悔やみ申し上げます

森山 秀樹様(60歳・大和浜)  
元山 莉緒様(2歳・大金久)  
萩原千代子様(90歳・大和の園)  
住 千枝様(101歳・大和の園)  
大石アサエ様(83歳・大金久)

### 香典返し(社会福祉協議会へ)

森山 裕子様(故森山秀樹様)  
元山 博三様(故元山莉緒様)  
大江 初子様(故住千枝様)  
政 スミ子様(故萩原千代子様)  
大石 藤芳様(故大石アサエ様)

### ふるさと納税ありがとうございます

山田 末廣様(愛知県)  
吉原 忠男様(横浜市)  
福原 輝義様(さいたま市)  
蘇畑 輝代様(埼玉県)  
小田 サエ様(千葉県)  
石川 雅信様(神奈川県)

広報誌謝礼ありがとうございます  
関 幸蔵様(鹿児島市)



湯湾釜青年団と舟漕ぎ競争

「湯湾の荒波奮い立ち いざや漕ぎ出す青年団♪」湯湾釜青年団に受け継がれる団歌で酒の席で好んで唄われま  
す。湾奥の湯湾釜に荒波が打ち寄せた  
かどうか異論の残る所ですが、湯湾釜  
青年団が舟漕ぎに長けていた事は衆目  
一致するところ。

舟漕ぎ競争が盛んな大和村にあって  
湯湾釜集落は古くから強豪チームとし  
て知られ、舟漕ぎ競争の群島一決定戦  
ともいえる奄美まつりで10回の優勝を  
数える伝統あるチーム。平成2年から  
4年までは前人未踏の三連覇を達成し  
ました。

今回の「ナチカシャぶおとぐらぶ」は、  
無敵を誇っていた頃のチームの一枚。  
写真からも力強い漕ぎっぷりが伝わっ  
てきます。背景には旧名瀬市塩浜地区  
の造船所や倉庫が並び当時の活気のある賑わいが思い浮かびます。

ナチカシャ  
ぶおとぐらぶ

第3回



湯湾釜公民館収蔵

舟漕ぎ会場として賑わった名瀬旧港  
区も現在は埋め立て工事が始まり大き  
く様変わりしました。そして何より変  
わったのは湯湾釜青年団が平成10年の  
優勝を最後に永らく勝利の美酒から遠  
ざかっていること。漕ぎ手の減少や高  
齢化、舟漕ぎ熱の高まりにより競技レ  
ベルが上昇。湯湾釜に限らず村内のチ  
ームは総じて苦戦を強いられています。  
地元のみらとみ祭りさえ、優勝どこ  
るか決勝戦に地元チームが残れない現  
状は往年の舟漕ぎファンならずとも口  
惜しい限りでしょう。

しかしながら今年には状況の好転も見  
られました。村内各集落の若者が舟漕  
ぎに参加し、大会に出場するチームが  
増加していること。毎日夕方になると  
各集落の浜辺には人々が集まり練習で  
賑わっています。今年は結果を残せま  
せんでしたが、いつの日か大和村のチ  
ームにかつての強さが戻ることを願わ  
ずにいられません。

必死に舟を漕ぐ若者らの思いは「伝  
統の復活」と「地域の団結」。10代の若  
者から50代の壮年団まで世代を越えて  
力を合わせる事によって集落の絆が  
深まっています。そういう意味では、  
集落を上げて舟漕ぎ競争へ参加したこ  
とは成功と言えるかもしれません。

さて、舟漕ぎ競争が終われば奄美の  
夏は終わりです。まもなくミーニシ（北  
西の季節風）が吹き、島にも冬が訪れ  
るでしょう。



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用  
の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ  
簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接  
URLを入力してアクセスしてください。  
(<http://www.vill.yamato.lg.jp/i/>)

発行・編集 大和村役場総務企画課  
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地  
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161  
mail:info@vill.yamato.lg.jp  
<http://www.vill.yamato.lg.jp>